局術期の意思決定 ~周麻酔期看護師の役割~

看護情報学 特論 |

周麻酔期看護学 上級実践コース 18MN010 鈴木祐華

本日の内容

- •用語説明
- テーマ選定理由
- 手術と意思決定について
- •周術期の現状と問題
- 周麻酔期看護師として
- ・まとめ



用語説明

- 「**周術期**」とは、入院、麻酔、手術、回復といった、患者の術中だけでなく前後の期間を含めた一連の期間
- 「周麻酔期」とは、麻酔診療を軸とした麻酔前・麻酔中・麻酔後の期間を示す
- ・麻酔業務は手術麻酔だけでなく、術前の診察、集中治療、鎮静下検査・処置、術後鎮痛、ペインクリニック、緩和医療と多岐にわたり、包括的ケアの実践を目指している

用語説明

- •周麻酔期看護師は、麻酔科専門医の指示のもとに、麻酔科医の業務を補助する役割があり、複雑で個別性の高い患者に対して、麻酔による全身への生体反応の対応だけでなく、包括的にケアとキュアを実践できる看護師である
- ・麻酔科医と協働することで、周術期における安全で安楽な麻酔/手術の遂行に寄与する

周術期での周麻酔看護師

- 手術という治療は生体への侵襲が大きく、全身の生体反応への予測や迅速な対応が求められ、さらに心理的な援助を必要とするからこそ、周麻酔期看護師の役割が重要となる
- → 周麻酔期看護師は、看護学を基盤とし麻酔科学を はじめ病態生理学、薬理学など生体系を系統的/ 実践的に学ぶ

・周術期というタームの中で、タイムリーにかかわることができる

周術期患者管理チームの例

周術期患者管理チーム East Surgical Support Team (ESST)



各職種の専門性を発揮した質の高いチーム医療



出典)国立がん研究センター東病院ホームページ

https://www.ncc.go.jp/jp/ncce/division/operating_room/esst/index.html

テーマ選定理由:意思決定はいつするの

- 「お任せします」
- ・入退院の期間の短縮
- → 手術という重要なイベントに対し、考える期間が短い
- 情報化社会
- → 情報量が多いが正しい情報を判断しにくい、選択肢がない
- → 医療者側も把握しきれないところがある
- なじみのない環境
- → 1人で考えなければならない
- → 無機質な環境での不安



周術期と意思決定

問題の認識:手術を受けるにあたり直面している 問題はあるか、それは何か 心配事はないか

- ・選択肢の探索:選択肢はあるのか 提供されているのか
- ・選択肢の評価:メリットとデメリット
- ・ 意思決定の再検討:納得して手術に臨むことができるか できるか 手術後、自宅に帰ってから自己を 想像できるかどうか

周術期と意思決定:選択肢の例から

- 手術決定 = 意思決定は1つクリアしているのか?
- ・周術期は多くの場面で意思決定・リテラシーが要求されるが、 意思決定や選択できる状況とできない状況が混在している。
- → 術前診察:糖尿病、喫煙、肥満、服薬コントロールなど かつら、化粧、ジェルネイルなどの美容的問題

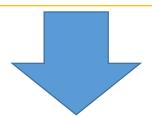
手術内容(腹腔鏡or開腹)など:外科医

- → 麻酔方法:脊髄くも膜下麻酔or全身麻酔
- → 術後:痛み、嘔気・嘔吐
 - = 早期離床に向けた介入



周術期の現状と問題

周術期外来や周術期センターを有していない 術前に麻酔科医や看護師の訪問がない 医師・看護師の知識不足 マンパワーの不足



患者が意思決定できる状況にない(心理・環境も含め)

周麻酔看護師として

- どのような麻酔や手術(治療)があり、それらのメリット/デメリットを知っている
- 患者を包括的にとらえ、時期に合わせたポイントや、何をすればよいのかを知っている
- Teach Backを用いることができる
- 鎮痛に対する知識があるため、個々 にあった疼痛管理の援助ができる
- チームで取り組むことに慣れている (協力的でサポーティブな環境を整え ることができる)
- 看護師として意思決定におけるジレンマを考えることができる
- → Shared Decision Making



手術後の outcomeに つながる

まとめ

- 周術期において、患者に選択肢があることの重要性を 考えなければならない
- 正しい情報を伝え、選択肢の中のメリット・デメリットを 伝える
- 短い期間のなかで、何が一番重要なのかを選別する
- 麻酔や手術に対する気持ちを導き出すことができる



Discussion



出典) University Massachusetts Amherst

- •麻酔/手術を受ける患者・家族の立場として知りたいことは なんですか?
- 麻酔/手術に対しての選択肢、メリットとデメリットを 知りたいですか?
- 周麻酔期看護師にどのようなことを期待しますか?

引用文献

- 公益財団法人 日本麻酔科学会 会員. 2011. 周術期管理チームテキスト.
- 国立がん研究センター東病院ホームページ(閲覧日2019年6月7日)

https://www.ncc.go.jp/jp/ncce/division/operating_room/esst/index.html

• タイラボホームページ(閲覧日2019年6月13日)

https://thai-lab.net/thai-language/benrinakotoba/

• 再発転移がん治療情報 (閲覧日2019年6月9日)

https://www.akiramenai-gan.com/medical_support/42001/

- 田中聡. 2017. 手術ナーシング. 4(4), 78-81
- 土蔵愛子. 2014. こころに寄り添う手術看護: 周術期患者・家族の心理と ケア. 医歯薬出版, 東京.
- University Massachusetts Amherst
- 横浜市立大学ホームページ

https://www.yokohama-cu.ac.jp/nur/dn/shumasuiki/shumasuiki.html